

スで貸切状態。一度にバス5台、200名のお客さまが東京・新宿・上野等から発車して合流。これが18時・19時・20時と食事場所浅草演芸ホール等入場箇所を組み換え続々とやってくるのですから、松葉屋さんも大忙し。見返り柳のガソリンスタンドを始め、周りのお店にもご迷惑をかけたか、これが毎日毎晩続きました。お大尽役で花魁からキセルで煙草を一服させてもらう、おじちゃん嬉しそうだった。それとショーの始まる時、紹介のアナウンスは、東京発の二号車のガイドがするのですが、怖いお姉さまガイドから「あら貴女、今日初めてご紹介のアナウンスなのに、お食事がよくなる通るわね!!」などと、有難いご指導いただいたのも、いい思い出です。

※いやいや、この話題はいつまでも止まりませんので、次に参ります。

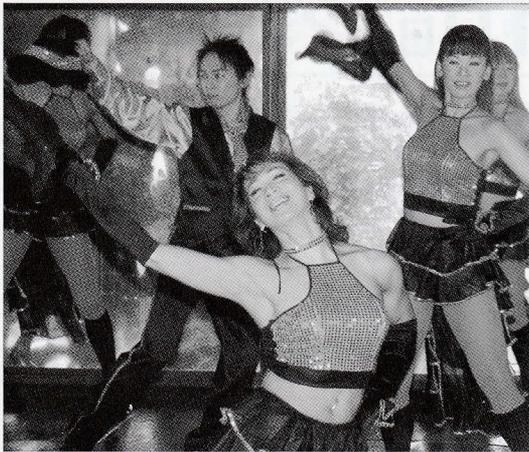
**夜ガイドとして、
気を遣ったこと・遣り甲斐とは？**

ご案内に関していえば、建物や景色が対象ではない点です。皇居の説明をしても、真つ暗ですからね。ショーやお食事がメインのコースは、見どころやお料理の内容のご案内となりますので、自分でよく調べましたね。そのうち興味の出た分野の造詣が深くなるガイドも多かったと思います。とくにお江戸コースは、時代背景や風俗など、現在目にしないことを、お客さまの想像を駆り立てるよう、ご案内を工夫しました。教本も江戸時代の様子を彷彿させる内容で、とても良くできてい

ました。やりがいという点では、ダイナミックに変貌する東京を、私が一番知っている、という自負でうまくご案内が出来たときですね。そして、美味しいお食事や、ショーを楽しんでいたただけたときの、お客さまの笑顔が、やはり一番の宝物でした。

夜ガイド・その世界

昼間は様々な仕事をしている人や、大学に通う人等、その時代を先取りするような生き方やセンスの、個性豊かな集団でした。若い人では手の出ない、高級なレストランやホテルに出入りしていますので、大人の雰囲気があり、そしてお酒が強い。加えて出勤が午後からですから、時間を気にせず飲んでいましたね。恒例の靖国神社のお花見はオールナイトでしたからね。大変な道路事情にも弱音をはかず、多くのお客さまに喜んで頂いた



▲ニューハーフショー

時の達成感が、更にお酒がすすみましたね。その結果、昼間の会議は苦手で、ご迷惑をお掛けすることもあったと、反省しています。

まとめに変えて

伺ったお話を何とか纏めようと思いました。が、取り留めのないものとなり、なつてしまいました。しかし間違ひなく感じ取れたのは、バブル期全盛から崩壊へ、そしてそれに伴う昼・夜ガイドの二本化への時代を、彼女たちは遅く走り続けたという事実です。そして、今回取材を通じて改めて思うことは、昭和26年に戦後復興の希望のひかりになろうと、夜コースの運行を開始した先人たちの、志を忘れてはいけないという事です。日本は衰退期にあると言われ長い年月が経ちました。こうした閉塞感のある現在こそ、はとバスは、創業時のあの熱い思いに負けぬ、お客さまに元氣と笑顔をあたえる、魅力ある夜のコースを更に多く発表して頂けるよう期待します。そして夜コースに、お客さまへの更にきめ細やかで、柔軟性のある対応を求められたとき、その時こそ夜ガイドさんの再登場が望まれるのではないのでしょうか？



▲夜ガイドさん座談会メンバー(敬称略)
前列向かって左から…真下和子/須藤智子/日下ゆみ子
後列向かって左から…松田育美/荻原美由紀/大林康子/柳 歌織

座談会	出席者	()内	旧姓
敬称略			
進行	文責	門村輝夫	
荻原美由紀		(佐藤)	
日下ゆみ子		(鈴木)	
松田 育美		(田中)	
須藤 智子		(梅本)	
大林 康子		(鳥谷部)	
柳 歌織		(越智)	
真下 和子			